

第 30 回

日本老年医学会 東北地方会

－プログラム・抄録集－

■日 時 令和元年 10 月 5 日（土）午前 9 時

■場 所 山形大学医学部 大講堂

山形市飯田西 2 丁目 2 番 2 号

TEL 023-628-5336

■会 長 山形市立病院済生館 外科

高 須 直 樹

■事務局 山形大学医学部 外科学第一講座

山形市飯田西 2 丁目 2 番 2 号

TEL 023-628-5336

FAX 023-625-5339

〔 ・ 受 付：午前 8 時 20 分より
・ 参加費：1,000 円 〕

第30回日本老年医学会 東北地方会の開催にあたって



第30回日本老年医学会 東北地方会
会長 高須 直樹
山形市立病院済生館 外科

この度、第30回の節目となる時に日本老年医学会東北地方会を山形で開催できますことをたいへんうれしく思っております。

高齢化が急速に進む中、日常の診療においても高齢者の割合はますます高まっており、我々外科医が80歳代、90歳代の方の手術を行うことも決して稀でなくなってきました。また、昨今高齢者が運転する自動車による死亡事故が、毎日のようにテレビ等で報道され、運転免許証の自主返納が話題となっております。他にも認知症、ポリファーマシー、介護、在宅医療、サルコペニア、フレイルなどなど、様々な分野で老年医学の果たす役割はますます増加してゆくことと考えられます。

昨年より日本老年医学会では、専門医に加えて、高齢者医療（老年医学）の知識と資格をより多くの医師に提供することを目的とし、学会独自の「高齢者医療認定医制度」が創設されました。このことにより、様々な分野の方が老年医学に興味を持っていただけるような環境が整いつつあると思われれます。

また今回は秋田大学内分泌・代謝・老年医学の山田 祐一郎先生に高齢者の糖尿病に関する特別講演をお願いしております。ぜひともご聴講いただけますようお願いいたします。教育講演を東北大学加齢医学研究所老年医学分野の荒井 啓行先生と杏林大学医学部高齢医学教授の神崎 恒一先生をお願いいたしました。また東北大学病院加齢・老年病科、冨田 尚希先生の海外学会報告もごぞいます。

今年の6月には仙台で第61回日本老年医学会学術集会が盛大に行われ、東北地方でもますます老年医学への関心が高まってきているのではないかと考えられます。秋の涼しくなってきた山形でホットな発表、討論が行われますことを願っております。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

ご参加の皆様へ

1. 受け付けは8時30分から会場で行います。
2. 本会に参加される方は必ず学会受付をお願いします。参加費は1,000円になります。ただし、卒後2年以内の初期研修医で本会に発表される先生の参加費は無料になりますので、申し出てください。
3. プログラムは当日ご持参ください。

一般演題演者へのお願い

1. 一般演題の発表時間は5分、討論2分、計7分です。(時間厳守)
2. 発表はMicrosoft PowerPointでお願いします。会場に用意するパソコンはWindows 7 PowerPoint2010です。発表データはPowerPoint (Windows版)で作成し、USBメモリーに保存して、発表の20分以上前に受付に提出し、動作確認をお願いします。
3. Mac OSで作成された場合、動画が含まれる場合はご自身のパソコンをご持参ください。
4. USBデータをお持ちの場合は、ファイル名：演者番号 演者名(例：1 山形太郎)としてください。
5. PCを持ち込まれた演者の先生は、ご自身で操作をお願いいたします。

資格更新のための単位登録手続きのご案内

(老年病専門医・高齢者栄養療法認定医・老人保健施設管理認定医)

1. 専門医、あるいは認定医は、単位登録の手続きを行ってください。
地方会参加の受付後、「参加単位登録」のデスクにて専門医カード、あるいは認定医カードをご提示ください。登録後に記録用紙をお渡しします。
地方会参加：7単位 教育企画参加：3単位
2. 教育企画については、対象の講演にご出席いただいた方のみ取得いただける単位となります。教育企画対象の最後の講演(開始時間：14:10)の開始後、講演の3分の1が過ぎた段階で単位登録は終了となります。

※カードを忘れた場合は、単位登録票に手書きで記載して頂きます(地方会当日に受付に提出すること)。

第 30 回日本老年医学会 東北地方会 プログラム

開会のあいさつ

9:00 ~ 9:05

会長 高須 直樹 (山形市立病院済生館 外科)

一般演題 I

9:05 ~ 9:33

座長：高木 忠之 (福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部)

1. 薬剤性 collagenous colitis と診断された自験 2 症例の報告と考察

沖永 壯治¹⁾、石木 愛子²⁾、冨田 尚希²⁾、沼崎 宗夫²⁾、國時 景子²⁾、高野 由美²⁾、
山本 修三²⁾、武藤 達士¹⁾、瀧 靖之¹⁾、荒井 啓行¹⁾

¹⁾ 東北大学加齢医学研究所 老年医学分野

²⁾ 東北大学病院 加齢・老年病科

2. 高齢者の食道アカシアに対し経口内視鏡的筋層切開術 (POEM) が有用であった 1 例

中村 純¹⁾、引地 拓人¹⁾、橋本 陽¹⁾、高木 忠之²⁾、鈴木 玲²⁾、杉本 充²⁾、
高住 美香²⁾、加藤 恒孝²⁾、入江 大樹²⁾、大平 弘正²⁾

¹⁾ 福島県立医科大学医学部 消化器内科学講座

²⁾ 福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部

3. 高齢自己免疫性肝炎の特徴

高橋 敦史、高木 忠之、大平 弘正

福島県立医科大学 消化器内科

4. PTHrP により高カルシウム血症が生じたと思われる多発性骨髄腫の一例

沼崎 宗夫、石木 愛子、冨田 尚希、沖永 壯治、荒井 啓行

東北大学病院 加齢・老年病科

一般演題 II

9:33 ~ 10:01

座長：福岡 勇樹（秋田大学医学部附属病院 内分泌・代謝・老年内科学）

5. 転倒を繰り返したフレイル合併高齢糖尿病患者の一例

加藤 俊祐、菅沼 由美、若林 茜、高橋 和之、大友 瞳、清水 辰徳、福岡 勇樹、
森井 宰、藤田 浩樹、山田 祐一郎
秋田大学医学部附属病院 内分泌・代謝・老年内科学

6. 東日本大震災被災地居住高齢者の社会・余暇活動と健康

石木 愛子¹⁾、富田 尚希¹⁾、沼崎 宗夫¹⁾、冲永 壯治²⁾、荒井 啓行²⁾
¹⁾ 東北大学病院 加齢・老年病科
²⁾ 東北大学加齢医学研究所 老年医学分野

7. 男性高齢者が健康づくり事業に参加するきっかけと参加継続の要因

佐藤 千穂¹⁾、齋藤 美華¹⁾、伊藤 莉惟²⁾
¹⁾ 公立大学法人山形県立保健医療大学看護学科
²⁾ 上山市役所

8. 在宅医療における介護環境および介護者ストレスについての考察

盛田 真樹
齋藤病院 在宅診療部

一般演題 III

10:01 ~ 10:29

座長：須藤 剛（山形県立中央病院 外科）

9. 高齢者終末期の問題と対策

佐藤 琢磨、小坂 陽一
医療法人社団清靖会 木村病院

10. 超高齢者大腸癌患者の CONUT(controlling nutritional status) score と術後合併症の検討

橘 知睦、須藤 剛、林 啓一、佐藤 敏彦、飯澤 肇
山形県立中央病院 外科

11. 高齢者に対する膵頭十二指腸切除術の栄養学的検討

菅原 秀一郎、高橋 良輔、野川 亮介、安次富 裕哉、蘆野 光樹、蜂谷 修
山形大学医学部 外科学第一講座

1 2. 80 歳以上の高齢者緊急手術における現状と今後の課題

岡崎 慎史、赤羽 綾香、伊藤 駿一郎、野津 新太郎、安次富 裕哉、鈴木 武文、
川村 一郎、矢野 充泰、神尾 幸則、蜂谷 修
山形大学医学部 外科学第一講座

一般演題 IV

10:29 ~ 10:57

座長：神尾 幸則（山形大学医学部 外科学第一講座）

1 3. 高齢者胃癌術後の縫合不全に対しアルギン酸ナトリウム含有流動食による栄養療法が有効であった 1 例

斎藤 拓朗、添田 暢俊、町野 翔、押部 郁朗、樋口 光徳
福島県立医科大学会津医療センター 外科学講座

1 4. 高齢者胃癌に対しての術後補助化学療法の有用性についての検討

外田 慎、野村 尚、椎川 真里那、橘 知睦、福島 紀雅、飯澤 肇
山形県立中央病院 外科

1 5. 合併症を考慮して縮小手術にとどめた乳癌症例の検討

柴田 健一、赤羽根 綾香、河野 通久、蜂谷 修
山形大学医学部 外科学第一講座

1 6. 当科における 90 歳以上の乳癌手術症例の検討

長谷川 繁生¹⁾、二瓶 義博¹⁾、高須 直樹¹⁾、佐藤 多未笑¹⁾、相磯 崇¹⁾、
五十嵐 幸夫¹⁾、大西 啓祐¹⁾、大竹 浩也²⁾

¹⁾ 山形市立病院済生館 外科

²⁾ 山形市立病院済生館 病理科

特別講演

11:00 ~ 12:00

座長：高須 直樹（山形市立病院済生館 外科）

演題：「高齢者糖尿病の診断から治療へ」

演者：山田 祐一郎（秋田大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝・老年内科学）

<休憩 10分>

ランチョンセミナー 12:10 ~ 13:10

共催：アストラゼネカ株式会社

座長 高須 直樹（山形市立病院済生館 外科）

演題：「女性で最も罹患率の高い乳癌の現状と新規治療法の開発」

演者：石田 孝宣

（東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座 乳腺・内分泌外科学分野）

<休憩 5分>

教育講演 1 13:15 ~ 14:05

座長：山田 祐一郎（秋田大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝・老年内科学）

演題：「認知症克服に向けた脳科学研究と先制医療構想」

演者：荒井 啓行（東北大学加齢医学研究所 老年医学分野）

教育講演 2 14:05 ~ 14:55

座長：荒井 啓行（東北大学加齢医学研究所 老年医学分野）

演題：「健康長寿を目指す老年医学 ―日本老年医学会の役割―」

演者：神崎 恒一（杏林大学医学部 高齢医学）

海外学会報告 14:55 ~ 15:15

座長：荒井 啓行（東北大学加齢医学研究所 老年医学分野）

演題：「International Conference on Frailty and Sarcopenia Research 2019
（ICFSR2019）参加報告」

演者：富田 尚希（東北大学病院 加齢・老年病科）

東北支部からのお知らせ 15:15 ~ 15:20

一般演題 V

15:20 ~ 15:55

座長：石木 愛子（東北大学病院 加齢・老年病科）

17. 高齢社会での脳卒中予防対策

鈴木 一夫

本荘第一病院 保健センター

18. 量子情動療法によるBPSD—仮説

藤井 昌彦、佐々木 英忠

仙台富沢病院

19. 口腔ケアを拒否する高齢者認知症患者に対するアプローチ —カンフォタブルケアを実施しての効果—

加藤 あゆみ、佐藤 規代美、柴田 大、吉田 順子、佐藤 淳子、大谷 和子

山形厚生病院 看護部

20. 高齢者認知症患者の手の不快臭に対するアプローチ —お茶パックとミョウバン水の比較—

船橋 明美、中山 彩恵、漆山 葵、笹原 喜恵子、清川 恵美、佐藤 淳子、

大谷 和子

山形厚生病院 看護部

21. 薬剤性パーキンソン症候群により嚥下障害が生じた高齢患者への看護援助について
大友 総¹⁾、大桐 規子²⁾、杉山 育子¹⁾、齋藤 美華³⁾、今野 恭子¹⁾

¹⁾ 東北大学病院

²⁾ みやぎ県南中核病院

³⁾ 山形県立保健医療大学

次期会長あいさつ

15:55 ~ 16:00

濱口 杉大（福島県立医科大学 総合内科）

閉会のあいさつ

16:00 ~ 16:05

会長 高須 直樹（山形市立病院済生館 外科）